

技専校院入学測驗中心 (Testing Center for Technological & Vocational Education)

URL: <http://www.tcte.edu.tw/> (中国語)

訪問日時: 2008年4月28日 10:30~12:00

訪問者: 川嶋 太津夫、荻上 紘一、濱名 篤、曾 徳興、林 篤裕

対応者: Lin, Tsong-Ming (林 聰明) (雲林科技大学 校長, President)

Hou, Chun-Kan (侯 春看) (雲林科技大学 副校長, Vice President)

Chiou, Shang-Chia (邱 上嘉) (雲林科技大学 副校長, Vice President)

Su, Chun-Tseng (蘇 純繪) (技専校院入学測驗中心 研究發展所 所長)

Wang, Dau-Chung (汪 島軍) (雲林科技大学 国際所 所長)

台湾における大学入学者選抜は、教育部の所管の下に、一般の大学を志願する者と科学技術系の大学を志願する者に対して別々に実施されている。更に、「考招分離」と呼ばれる、入学試験（「考試」）と募集・選抜（「招生」）とを別の組織が担当している。

一般の大学については、「考試」は大学入学考試中心が担当し、「招生」は大学甄選入学委員会と大学考試入学分發委員会が担当している。一方、科学技術系大学については、「考試」は技専校院入学測驗中心(雲林科技大学に併設)が担当し、「招生」は技専校院招生策進總會(100校程度の科技系大学の学長で構成)が担当している。

技専校院考招制度、即ち科技系大学の入学者選抜の概略は以下の通りである。科技系大学には4年制と2年制があり、それぞれ「四技」、「二專」と呼ばれている。科技系大学に入学を希望する者は、原則として「統一入学測驗」(2001年導入)を受験しなければならない。受験者の大半は、職業系の高校卒業(予定)者であるが、普通高校卒業(予定)者も受験することが出来る。統一入学測驗は「二專」向けが4月下旬(受験者数3.8万人、2008年の場合)、「四技」向けが5月中旬(同17万人)の各々2日間で実施されるが、「二專」向け試験の受験者は減少傾向にあるという。

「四技」向け試験について詳しく言えば、試験科目は、国語、英語、数学が必須科目であり、専門科目は23分野(機械、汽車、電機、電子、化工、衛生、土木建築、工業設計、工程、管理、護理、食品、商業、商業設計、幼保、美容、家政、農業、英文、日文、餐旅、海事、水産)から2科目を選択する。23分野の各々に2種類の試験が用意されているので、合計で50科目の試験を作成していることになる(「二專」向け試験は合計で45科目)。科目数が多く作題に費用がかかるので、縮小したいと考えてい

るようである。出題範囲は高校 3 年生の 2 学期までの範囲で、これは試験実施日(5 月)の 2 週間前までの範囲とのことである。科目ごとの試験範囲は以下 URL に掲載されている(2008 年(台湾暦 97 年)の場合)。

- ・「四技」向け試験(4 年制): http://www.tcte.edu.tw/download/97year/97range_4y/
- ・「二專」向け試験(2 年制): http://www.tcte.edu.tw/download/97year/97range_2y/

試験問題は大学から科目担当の教員を招聘し、合宿形式の短期間(2 週間程度)で作成している。試験問題バンク(「題庫」)もあるようだが、再利用を考えているのではなく、将来の出題に備えてのアイディア集的なもののものであった。

試験結果は、実施 2~3 週間後に受験者本人と技専校院招生策進総会に報告される。受験者は、第 1 のチャンスとして、「推薦甄選」(推薦入学)に挑戦することが出来る。出願は 1 人 1 校に限られるが、約 60%の者が挑戦するという。「推薦甄選」の受け入れ可能人数は総定員の 40%以内と定められているが、実際には 30%程度に留まっているらしい。選抜は、主には試験結果を用い、必要に応じて面接や内申書を併用して、各大学が独自に行う。合格した場合は、入学手続を行うか、権利を放棄して第 2 のチャンスに賭けるかの選択が出来る。合格発表は 6 月末~7 月初旬である。

第 2 のチャンスは、8 月に行われる「聯合登記分發」であり、入学者選抜の中心をなす。志望校(学部・学科)を 100 まで記入することが可能であるが、平均は 50 程度であるという(合格発表は 8 月 10 日頃)。どこかには合格するようだが、入学を希望しない場合には、第 3 のチャンスとして、夜間部の「聯合登記分發」に出願することが可能である(合格発表は 8 月 20 日頃)。加えて、制度上は大学入学考試中心が 7 月に実施する「指定科目考試」(国文、英文、数学甲、数学乙、歴史、地理、物理、化学、生物から 3~6 科目)を受験することも可能ではあるが、職業系高校の生徒にとっては非常に難しい試験のようである。

年度内に 3 度のチャンスがあることになるが、次年度に賭ける者もいる。

科技系大学に入学を希望する者は、「統一入学測驗」を受験することが原則であるが、例外として、各種の国際スキル・オリンピック(ロボットコンテスト等)で 3 位以内に入賞した者には、「統一入学測驗」を課さずに入学が許可される。毎年全国で約 300 名がこの方法で入学しているという。